

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築		NO	2-4
事業名	森林保全のための大型野生動物モニタリング事業			
事業費	1,911 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課	

## 1 目的

- (1) 森林生態系モニタリング  
ニホンジカの生息情報収集、群れや個体の行動モニタリング及び行動解析を実施し、その結果に応じた森林の管理や利用方法、ニホンジカへの対策等の検討を行う基礎資料とする。
- (2) 里山に出没する大型野生動物生息動向調査  
県内の大型野生動物の生息情報収集等を実施し、野生鳥獣に対する対策等の検討を行う基礎資料とする。
- (3) ニホンジカ、イノシシ生息動向調査  
ニホンジカ、イノシシの目撃情報収集等を実施し、野生鳥獣に対する対策等の検討を行う基礎資料とする。

## 2 事業概要

- (1) 森林生態系モニタリング  
ニホンジカの目撃情報の集積と解析、目撃場所の生息環境調査を実施。
- (2) 里山に出没する大型野生動物生息動向調査  
大型野生動物について自動撮影カメラによる生息動向調査等を実施。
- (3) ニホンジカ、イノシシ生息動向調査  
県内に生息域を広げるニホンジカやイノシシの目撃情報の収集を実施。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

### 【平成27年度森林保全のための大型野生動物モニタリング事業の取組事例】

平成27年6月末現在  
山形県森林研究研修センター

#### 山形県における近年のニホンジカの確認情報

年	月	日	市町村	地区	確認個体数			幼獣	確認場所	確認状況	記載年	目撃地調査
					オス	メス	不明					
2009	6	9	大石田町	檜沢			1		サービスエリア付近	交通事故死	2012	24-9
			榑引町	西荒谷			1					
			村山市	土生田			1					
			山形市	滑川			1					
			上山市	葛蒲			1					
目撃件数			5	計		5						
2010	10	11	村山市	金谷			1		国道13号線	交通事故死	2012	
			鶴岡市	木野俣			1		国道453号線	交通事故死	2012	
目撃件数			2	計		2						
2011	1	10	大江町	柳川			1		大頭森付近の沢	生存時確認	2012	
			朝日町	白倉			2		朝日川付近の森林	生存時確認	2012	
			米沢市	綱木		1	1		綱木から綱木ダムの間	生存時確認	2012	24-4
			米沢市	綱木			1		檜原峠付近の林道	生存時確認	2012	〃
			目撃件数			4	計	5	1		現実推定個体数 オス3頭、メス1頭	
2012	3	13	小国町	小国小坂町			1		小国高校脇の流雪溝	死亡確認	2012	
			川西町	中郡 堀金			2		水田と河原	生存時確認	2012	24-1
			川西町	中郡 時田			2		水田と河原	生存時確認	2012	24-2
			米沢市	落合			2		水田と河原	生存時確認	2012	24-3
			鶴岡市	添川			1		水田脇の道路	生存時確認	2012	24-13
			鶴岡市	羽黒町手向			1		道路	生存時確認	2012	24-10
			鶴岡市	羽黒町戸野地			1		道路	生存時確認	2012	24-11
			最上町	志茂 薬師原			1		水田脇のスギ林	生存時確認	2012	24-5
			新庄市	金沢		1	1		休耕田	生存時確認	2012	24-8
			新庄市	東山 東山公園			1	1	都市公園の中	生存時確認	2012	24-6
			新庄市	金沢			1	1	ドックラン脇の畑	生存時確認	2012	24-7
			新庄市	鳥越			1	1	道路	生存時確認	2012	
			新庄市	金沢			1	1	道路	生存時確認	2012	
			新庄市	金沢			1	1	耕作地 近隣の草を食べる	生存時確認	2012	
			新庄市	金沢			1	1	幼稚園付近の林道	生存時確認	2012	
			戸沢村	角川			1		スギ林内	生存時確認	2012	24-15
			真室川町	川ノ内			1		県道	生存時確認	2013	25-3
			小国町	綱木箱の口			1		県道	生存時確認	2014	26-3
目撃件数			18	のべ計	13	14		現実推定個体数 オス5頭、メス4頭				
2013	2	14	小国町	大滝			1		広葉樹林の林縁	生存時確認	2013	25-1
			金山町	内町 宝円寺			1	1	寺院裏手の林円	生存時確認	2013	26-1
			鶴岡市	本郷 細越			1		宅地裏の広葉樹林	生存時確認	2014	
			鶴岡市	田妻俣 六十里街道			1		県道付近の広葉樹林	生存時確認	2014	
			鶴岡市	大針 沖ノ前			1		宅地裏の広葉樹林	生存時確認	2014	
			鶴岡市	山五十川			1	1	スギ人工林の林縁	自動カメラ撮影	2013	26-4
			鶴岡市	山五十川			1		スギ人工林の林縁	自動カメラ撮影	2013	〃
			目撃件数			7	のべ計	5	3		現実推定個体数 オス4頭、メス3頭	
2014	4	13	小国町	綱木箱の口			1	1	雪上 広葉樹林内	生存時確認	2014	2013同様
			小国町	大滝			1	1	県道	生存時確認	2014	26-2
			小国町	伊佐領			1		国道 畑のアズキを食べていた	生存時確認	2014	26-13
			尾花沢市	高橋			1	1	市道運転中、直前を走り去った	生存時確認	2014	26-8
			尾花沢市	正殿			1		県道横断中に車と衝突	死亡確認	2014	26-7
			尾花沢市	尾花沢			1		国道脇、丹生川付近の水田	生存時確認	2014	26-6
			尾花沢市	毒沢			1		国道で自動車と接触	死亡確認	2014	26-5
			遊佐町	杉沢			1		月光川と熊野川の合流点	生存時確認	2014	26-14
			鶴岡市	小名部			1		県境の県道付近のスギ林	自動カメラ撮影	2014	26-9
			鶴岡市	金峰山			1		金峰山麓集落より1km広葉樹林	自動カメラ撮影	2014	26-12
			戸沢村	高屋			1		土湯山への林道付近の広葉樹林	自動カメラ撮影	2014	
			鶴岡市	茅原			1		三川町東沼より国道7号沿いを走る	生存時確認	2014	26-10-11
			鶴岡市	大綱			1	1	県道(排水トンネル工事現場)付近 移動中	生存時確認	2015	
米沢市	綱木			2		綱木から綱木ダムの間	捕獲 死亡確認	2014				
目撃件数			14	のべ計	10	4	2	1	現実推定個体数 オス9頭、メス4頭、幼獣1頭			
2015	1	6	鶴岡市	湯田川			1		県道を移動中	生存時確認	2015	
			東根市	泉郷			1		白水川ダム付近を移動中	生存時確認	2015	
			長井市	寺泉 安の沢川			1		ハンターが捕獲 胃に杉の葉	捕獲 死亡確認	2015	
			鶴岡市	由良			1		三瀬鳥獣保護区より由良側に飛び出し	生存時確認	2015	
			鶴岡市	道地 茨新田			1	1	砂丘畑で大根、フロコリーを食べていた	生存時確認	2015	
			天童市	荒井原			1		道路を移動中	生存時確認	2015	
			尾花沢市	鶴巻田 丹生川頭首工			1		ハンターが捕獲	捕獲 死亡確認	2015	
			酒田市	中野俣 相掛沢			1	1	林道から50m程度の林縁部を移動中	生存時確認	2015	
			小国町	箱ノ口			1		森のめぐみ直売所南側に立っていた	生存時確認	2015	
			舟形町	舟形 紫山			1		農業用水路(三光堰)に埋まり脱出不能	生存時確認	2015	
			米沢市	万世町刈安			1		国道13号線で交通事故 1歳	交通事故死	2015	
目撃件数			11	のべ計	8	1	2	0				
目撃件数合計				合計								

項 目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築	NO	2-5
-----	------------------------	----	-----

事業名	生物多様性戦略推進事業		
事業費	4,180 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

## 1 目的

森林生態系を始めとする自然環境について、総合的なモニタリング調査を実施して、早期に異変等を把握し、必要に応じて保全対策を実施し、「多様な生態系を育む、みどり豊かな山形」を未来に継承していく。また、調査結果等を蓄積するとともに、広く県民に情報提供を行い、生物多様性の保全と持続可能な活用に向けた意識の醸成や普及啓発を実施する。

## 2 事業概要

### (1) 自然環境現況調査

- ・ 森林を取り巻く自然環境の異変等を早期に察知するため、動植物の生育・生息動向などの自然環境の変化を継続的にモニタリングする。県内の「生態系」別の調査を実施している。（風穴、湿原等）

### (2) ブナ・ナラ豊凶調査

- ・ 県内30箇所の調査サイトについて、動物の生息・生育動向に大きな影響を与えるブナ等堅果類の豊凶について継続した調査を実施している。
- ・ 秋季の森林環境の異変と動物の出没動向に影響する「山の実り」を把握するため、関係者に対するアンケート調査を実施している。（山の実り調査）

### (3) 希少野生生物分布調査

- ・ 絶滅危惧種を取りまとめた山形県レッドリスト、レッドデータブック（動物版）の改訂を行うため、県内分布・生息状況の調査を実施している。（平成27年度は淡水魚類、哺乳類、両生類、爬虫類、陸産・淡水産貝類、甲殻類の調査を実施）
- ・ 飛島の島しょ地域において、カンムリウミスズメ、ウミスズメ及びウトウの繁殖状況の調査を実施した。今年度は繁殖確認に至らなかったが、可能性は高いと考えられ、特に、希少鳥類であるカンムリウミスズメとウミスズメの同じ場所での繁殖が確認できれば、日本初、世界で2例目となる。

### (4) 山形県レッドデータブック動物版改訂に向けた関係会議の開催

- ・ 山形県レッドリスト等掲載種選定委員会の開催  
県内の絶滅危惧種をまとめたレッドリスト改訂のための専門的な評価、検討を行うため、魚類において学識経験者、専門家で構成した会議を開催予定。（調査終了予定の10月以降に開催予定）

### (5) 外来生物分布状況調査

- ・ 本県の生態系に悪影響を及ぼしている外来生物について、防除対策の基礎資料とするため、県内の重要な生態系において分布調査を実施する。

調査箇所：①蔵王（山形市）②奥山寺（山形市）③月山周辺（西川町）

④鳥海山周辺（遊佐町）⑤飯豊山周辺（小国町）

⑥海谷湿地（大石田町）⑦粥持田湿原（白鷹町）

### (6) 自然環境モニタリング総合検討委員会の開催

- ・ 自然環境モニタリング調査の調査方法の検討や調査結果の分析、保全対策の検討を行うため、専門家等で構成する自然環境モニタリング総合検討委員会を開催予定。

## やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成27年度自然環境総合モニタリング事業の取組状況】



雄花等回収トラップ



ブナの雄花  
07.10.30 果実  
目ブナ




HPで情報発信

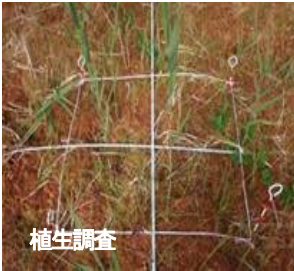


平成25年度ブナ豊凶調査予測と豊凶実績


ブナ・ナラ豊凶調査  
【県内30箇所】




水生昆虫の捕獲調査



植生調査



山岳地の踏査



前年度調査 → 保全対策の事例  
(希少植物の埋土種子の探索)



自然生態系保全調査（自然環境や希少野生生物の現況調査）

### 各種委員会



- ・ 自然環境モニタリング総合検討委員会  
調査の手法や実施箇所等の見直しについて検討等を行う。（2回開催予定）
- ・ 山形県レッドリスト等掲載種選定委員会  
山形県の絶滅危惧種を取りまとめたレッドリストを改訂するため、専門家による評価、検討を行う。今年度は魚類が対象。（2回開催予定）

### 希少野生生物分布調査（希少海鳥繁殖状況調査）

【カンムリウミスズメ】      【ウミスズメ】

飛島の島しょ地域において、カンムリウミスズメ、ウミスズメ及びウトウの繁殖状況について調査を実施。

カンムリウミスズメとウミスズメは、絶滅が危惧される希少鳥類であり、両種の同じ場所での繁殖が確認されれば日本初、世界で2例目である。また、カンムリウミスズメは日本の北限、ウミスズメは日本の南限の繁殖地となる。

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築		NO	2-6
事業名	大型鳥獣等野生復帰事業			
事業費	1,423 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課	

### 1 目的

人と自然が共生する森づくりの一環として、森林生態系を支える多様な野生鳥獣の保護のため、傷病等で救護又は捕獲された大型鳥獣の野生復帰の総合的な治療訓練、移送、放鳥獣を行う。

### 2 事業概要

野生鳥獣の専門家（獣医師等）を擁する事業所に委託し、傷病等で捕獲された野生鳥獣を野生に復帰させる。

- ・ 県内各地で保護された野生鳥獣に対し、必要に応じて現場で治療を行い、地域住民等の協力を得て、安全な奥山等へ移送し放鳥獣する。
- ・ 県内の野鳥救護所及び野生獣類救護所で救護され、状態が落ち着いた野生鳥獣を救護所から引き受け、必要に応じて総合的な治療訓練を行い、安全な奥山等へ移送し放鳥獣する。



やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成 27 年度大型鳥獣等野生復帰事業取組事例】



救護した野生鳥獣の状況

項目	21世紀にふさわしい県民と森林の関わりの構築		NO	2-7
事業名	総合クマ対策推進事業			
事業費	2,196 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課	

## 1 目的

- (1) ツキノワグマ生息状況調査  
森林生態系の構成要素であるクマについては、年間の捕獲数上限を定めた上で、個体数管理をするというツキノワグマ管理計画の目的を達成するため、生息動向調査を実施する。
- (2) 初心者講習会の実施  
森林生態系の構成要素である野生動物の保護管理を担う狩猟者を育成するため、研修会を実施する。

## 2 事業概要

- (1) ツキノワグマ生息状況調査  
残雪期にクマを追い出し、直接目視により個体数をカウントする方法（①直接観察法）と地域を定めてルートを歩いて足跡や糞など痕跡を確認する方法（②痕跡調査法）による調査。
- (2) 初心者講習会の実施  
狩猟免許受験希望者に対し、鳥獣保護管理法、わな・猟銃等技能、野生鳥獣との共生の意義等について、事前に理解を深めてもらう狩猟試験初心者講習会の開催。

やまがた緑環境税を活用した取組み  
【平成27年度総合クマ対策推進事業の取組事例】

狩猟免許取得初心者講習会

平成27年7月14日村山会場(113名参加)の実施状況



平成27年7月19日庄内会場(43名参加)の実施状況

